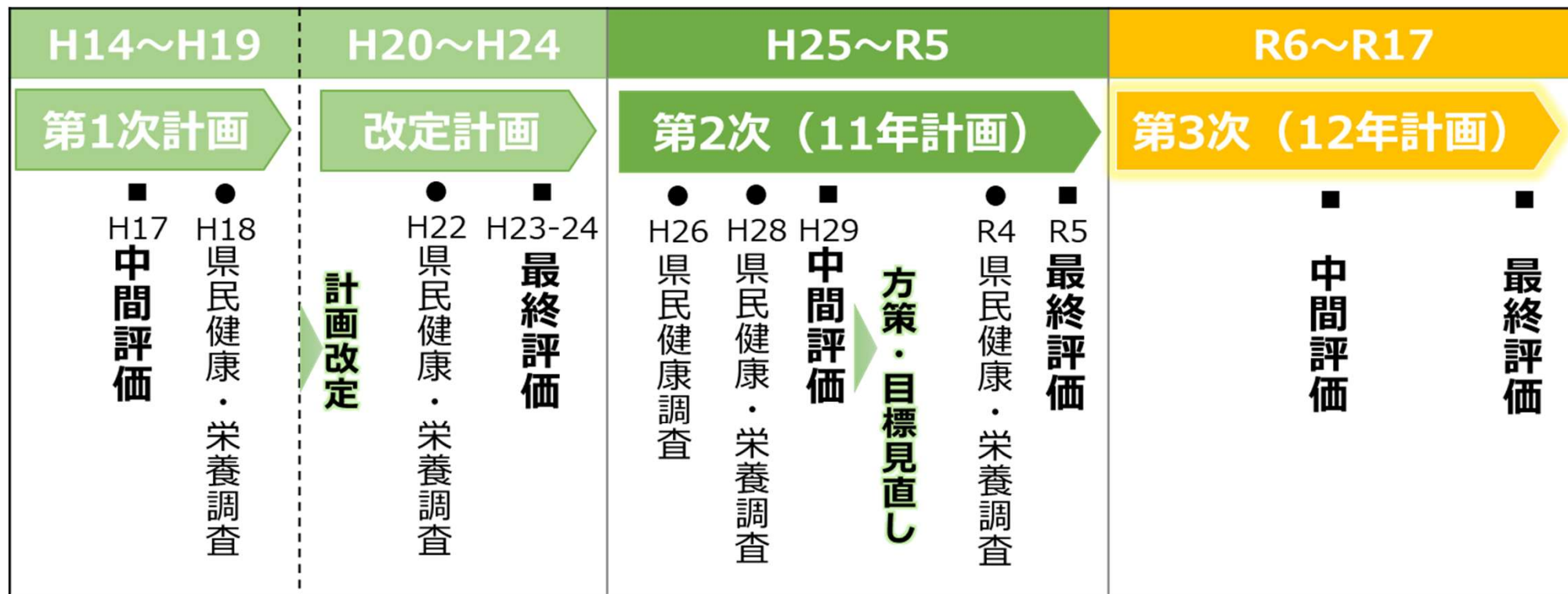


第3次みやぎ21健康プランの概要



みやぎ21健康プランの経過



第3次国民健康づくり

H12～H24
健康日本21

- H20特定健診・特定保健指導

第4次国民健康づくり

H25～R5
健康日本21(第二次)

- H25データヘルス計画

第5次国民健康づくり

R6～R17
健康日本21(第三次)

- R2改正健康増進法施行

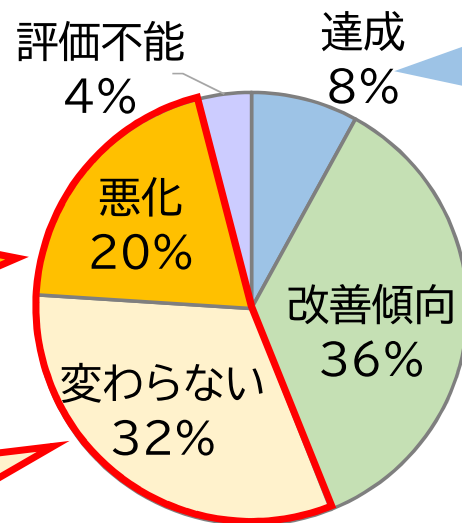


第2次プランの最終評価

主な項目の達成状況(目標項目75)

メタボリックシンドロームの割合
肥満者の割合
野菜摂取量
朝食欠食者の割合【女性】

リスクを高める量を飲酒する人の割合
歩数、運動習慣者の割合



健康寿命の延伸【男性】
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)
虚血性心疾患の年齢調整死亡率【女性】

健康寿命の延伸【女性】
脳血管疾患の年齢調整死亡率
喫煙率、受動喫煙の割合
食塩摂取量【女性】

健康寿命の延伸や年齢調整死亡率の減少がみられた一方で、
メタボリックシンドロームや肥満、生活習慣に関する指標は悪化

第3次プラン策定に向けて

- 健康格差の縮小に向け、健康水準の底上げを図る
- 生涯にわたる切れ目のないライフコースアプローチの推進
- これまでの取組の一層の強化と、より実効性のある健康づくりの展開

宮城県の健康課題

※順位はいずれも都道府県順位

子ども

肥満が多い

子ども (小学5年生)
男子**18位** (14.0%)
女子**1位** (16.8%)

幼稚園から高校まで、
ほとんどの学年で全国
平均を上回る

(R6年度学校保健統計調査_文部科学省)

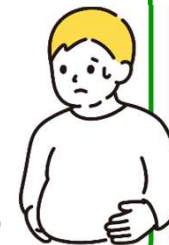
青・壮年期

・メタボの該当者・予備群が多い **3位** (32.2%)
(15年連続ワースト3位以内!)

(R4年度特定健診・保健指導に関するデータ_厚生労働省)

・肥満が多い 男性**6位** (40.1%)、女性**8位**
・腹囲基準値以上
男性**7位** (53.6%)、女性**8位**

(第8回NDBオープンデータ (R2特定健診データ) を用いた分析)



高齢期

脳血管疾患
による死亡率が高い

人口10万対

男性**9位**(110.7)
女性**7位**(71.0)

男女とも減少傾向にある
ものの、全国値を上回る

(令和2年都道府県別年齢調整死亡率
厚生労働省)

運動時間が 短い

特定保健指導の実施率が低い

- ・歩数が少ない
- ・運動習慣者の割合が低い
- ・食塩摂取量が多い
- ・喫煙率が高い

野菜摂取量の減少

朝食欠食

飲酒



第3次みやぎ21健康プラン（R6～R17）



新・宮城の将来ビジョン

富県躍進！“PROGRESS Miyagi”～多様な主体との連携による活力ある宮城を目指して～

政策推進の基本方向3：誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

基本理念

県民一人ひとりが生きがいを持ち、
充実した人生を健やかに安心して暮らせる健康みやぎの実現

※第1次、第2次プランを継承

基本方針

健康寿命の
延伸

健康格差の
縮小

予防対策の
充実

連携と協働による、
誰一人取り残さない、
より実効性のある健康づくりの展開

計画の視点

- ① 生活習慣病の発症予防と重症化予防
- ② 栄養・食生活、身体活動・運動、休養・睡眠、飲酒、喫煙、歯と口腔の健康に関する生活習慣の改善
- ③ 生涯にわたる健康づくり県民運動の展開
- ④ 健康を支え、守るための社会環境の質の向上
- ⑤ 社会の変化を捉えた健康づくりの推進

取組分野

「連携と協働」を強化し、県民の健康を支える社会環境づくりを推進

健康水準の向上

—— (赤下線)第3次プランで新たに設定した分野等

生活習慣の改善

【1】栄養・食生活 (アルコールを含む)

健康的で持続可能な食環境づくり など



【2】身体活動・運動

身体活動や歩数増加の機会の増加 など



【3】たばこ

望まない受動喫煙が生じない環境づくり など



【4】休養・睡眠

職域保健との連携による健康な職場環境づくり など



【5】歯と口腔の健康

乳幼児期及び少年期の歯科口腔保健対策の重点化
歯周病対策の強化 など



生活習慣病の発症予防と重症化予防

【6】がん

がんの予防と早期発見に関する普及啓発 など



【7】循環器疾患

特定健診受診率向上と特定保健指導実施率向上の取組の強化 など

【8】糖尿病

重症化予防のための地域保健と地域医療の連携体制の構築支援 など

【9】COPD

健診等における早期発見の取組 など

ライフコースアプローチ

子ども

食育・防煙教育・がん教育等、運動習慣の定着の取組



高齢者

地域での健康づくりのイベントの促進、フレイル予防



女性

適正体重の維持、食生活の改善や飲酒などの情報発信



推進体制

多様な主体との連携と協働

民間事業者
(企業)

住民団体・
NPO

関係
団体

大学

国

県

市町村

医療
保険者

保育所・
教育機関

産業保健
関係機関

各取組分野における目標数（全83※）※再掲含む

【基本方針】

健康寿命の延伸	1
健康格差の縮小	7
予防対策の充実	6
連携と協働による、誰一人取り残さない、より実効性のある健康づくりの展開	9

【健康水準の向上】※再掲含む

生活習慣の改善	栄養・食生活	13
	身体活動・運動	7
	たばこ	5
	休養・睡眠	5
	歯と口腔の健康	5

生活習慣病の発症 予防と重症化予防	がん	3
	循環器疾患	6
	糖尿病	4
	COPD	2

【ライフコースアプローチ】※再掲含む

子ども	2
高齢者	3
女性	5

未設定ベースライン値及び目標

取組分野	項目	ベースライン値	目標値
たばこ	20歳未満の喫煙をなくす	今後把握	0%
休養・睡眠	睡眠時間が十分に確保できている者の増加 (睡眠時間6～9時間(60歳以上は6～8時間)の者の割合)	今後把握	今後設定
栄養・食生活	健康的で持続可能な食環境づくりに参画する団体の増加	今後把握	今後設定

計画の期間と進行管理

R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
第3次（12ヶ年計画）											
新 プ ラ ン 策 定				中間評価					最終評価		
				健康・栄養調査	● 評価作業	目標見直し			健康・栄養調査	● 評価作業	次期計画策定